
編集後記

『研究紀要8号』をお送りいたします。この号の主題は「変わりゆく『家族』と次代再生産」です。家族が様々な意味で問題として取り上げられるようになって久しいですが、昨年の本紀要の主題でもあった雇用や福祉の状況の悪化に伴い、近年特に次代再生産の環境の悪化が懸念されます。家族とは何かという規範意識それ自体、あるいは出産や子育てに関わる状況や価値意識等についても、今一度広い視野から問題をとらえ直すことが必要とされている今日であるように思います。テーマ論文のいずれも、この課題に答える読み応えのある論文と自負しています。お書きいただいた方々、本当にありがとうございました。

第8号への応募は、論文15本・研究ノート4本、実践事例研究1本の、計20本でした。ここから厳正な審査の末、4本の論文が入選いたしました。入選者には、毎年夏に会館で開催される「女性学・ジェンダー研究・交流フォーラム」で口頭発表をしていただいておりますが、今年も発表会が開催される予定です。この機会を是非、研究交流の場として生かしていただきたく思います。また今年から、この口頭発表会において、女性学・ジェンダー研究の発展と本紀要の投稿数の増加を目的として、「論文の書き方講座」を開催する予定です。論文の主題を持ちながら書き方のコツがつかめず不安に思っている方、もう既に投稿を予定されている方等、どうぞご参加ください。投稿数の増加・研究者数の増加が、本紀要の質の向上にも結びつくことが出来ればと思います。

また本号から、紀要の情報伝達機能を向上させるためにコラム欄を創設しました。今回は門脇先生にご執筆いただきましたが、紀要の新しい誌面として今後も生かして生きたいと思っております。

本号は、実質的には、前編集委員長の牧野カツコ先生のもとで、編集がすすめられ、最後に江原が引き継ぐことになりました。新しい編集委員の方々や紀要協力委員の方々を迎え、いっそう良い紀要にしていくよう、努力していく所存です。よろしくお申し上げます。

第9号の主題は、「エンパワーメントのための生涯学習」です。

紀要編集委員長 江原由美子

国立女性教育会館研究紀要 第8号

2004年8月30日 発行

編集・発行

独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地

TEL 0493-62-6711 FAX 0493-62-9034

制作・印刷

よしみ工産株式会社

〒804-0094 北九州市戸畑区天神1丁目13番5号

TEL 093-882-1661 FAX 093-881-8467